たと云ふ風潮も漸く著しからんとしつつあり、南京路落を前にドィツの調停栗出しを契機に抵抗織納かかした事實あり、この所南京を焦土と化すべしと云ふが如き徹底的抗戦論が表面に横行し、他面には抵かした事質あり、

なることを反映してゐるが、一方汪精衛が淡口でなした演説の如き前線將士に對する後方國民の貴

ラウドマン獨大使育談は五日朝來支那各紙に大々的に取扱はれ一般支那人の關心の大

支那各階級頭を惱す

5共に、國民が集して前線將士の期待に副ひ得るや否やその點を取上げて國民の反省を促し暗に应

[上海五日同盟] 蔣介石

協かと云ふ問題に支那各階級は頭を悩してゐる

市内に愈よ喊線の接近を思はせる砲聲が遙に東方より斷續的に傳つてをり、郊外より市中を通過して揚子江を渡

、上海五日同盟』句容の敵第三防禦線の崩壊により南京の恐慌は一層の真剣味を加へて来てをるが、 五日には南京

避難民引きも切らず

道路の分岐點に當り、南京防衛の重要を害である

我〇〇部隊吳家に突入す「漂陽にて六日同盟特派員」探示より南京に迫る

抵抗繼續か和平妥協か

を追撃中にして南京に對する我が包圍圈は愈よ壓縮せらるるに至れり午後三時旬容の北方地區及び索壁鎮(南京東南方約二十キロ)を通過し、敗退する:【東京電話】大本營陸軍部六日正午發表——磨盤山脈を越え前進中なりし我が部隊は、五

一敗退する敵部隊は、五日

秋政を改善

我包圍圏愈よ壓縮さる

我先頭部隊土橋鎮に達す | 【旬客にて六日同盟特派員】旬客の壁跡を扱き被問頭を經

南京まで三十キロである。 尚土橋鎭は南京北方迂回道路と直

軍家野鎭廟京東方を通過

退する敵を追撃

に嵐山の櫻移植

政して五日米明何容を完全に 資か見算は沿走する跡を追

『頃を突破した。『南京は句音

正死を共にする」と解せられ

海軍の協力

掛子江上流

京を腹び故宮飛行場を揺瘍、更空観部隊〇〇機は午前十一時南

五日もまた四年

別して同方面も南京へ十里

院館属下の封鎖線を突破、進江

の高極地にも早朝からを力に

「五日」

新年號大奮發の名附錄

した、また四日午後一時には福 にあったが主に二些に命中心器三型が我が著告に反してその中

方法縣を法職、兵工廠に大議職 上班人日川盟 網際報

呉万委員は本日午前十一一時川越を

全支に魁け治安確立

界大立者をめぐる義理人情の棚 天中軒如雲縣町

今嬢の許婚者

思 T

今回の折衝は初期的工作

育の管理する所で、興中の司に 対多く品位も提売とフルシムでよの終済 を委任してゐる、理 永遠は 対策を委任してゐる、理 永遠は

獨逸大使へ 但しドイツは難介石に停戦問題に 修職工作に乗出したものであるが 止まり勿論平利回復に関しては新 の調件集由しに對して「これと談

息としてドイツ大使の疑問訪問は一なしたものではないと無へられて「要求してふるといはれる

激烈な山岳戦

地撃を傾けて心る我が軍は五日夕

何等かの形式において再び表演化

れるものと類型されてある

浦東に大道

市政府誕生

近頭に抵抗し酸熱な山岳戦

輝~日本の聖山 山窩娘の恐るべき戀

海の魔人編 本の血を受けた比島志士物語

警女姫お美代覧角

【十字舗六日同盟特派員發至急報】六日正午頃藤田戦車隊は宣城の一角に突入した 正規兵が警戒に當つてゐる、アメリカ大使館では南京の危機切追に鑑み居殘つてゐた三十一名に對し砲艦タネ號 り對岸に避難する農民は引きも切らぬ有様で殆ご空家になつてゐる街に張りめぐらされに鐵條網に巡響に代つて 角を占領す 汪家山も占領

和職に應ずべしといる如言温硬な 【上海五日同盟】駐支ドイツ 再び表面化か獨の調停工作 他の蛇旋機械を爆撃してゐるもの ○意味合においてドイツ政府に今 米蘇西菜會議所書記をしている。同

【宋京電話】大本營陰軍部午後一

組近に記集する者数萬に建し

脱退する威兵にして

たり、その原子順級の汽船二

あると信ぜられてゐる。從つて「ヴェート官蓋の手により連携され

よれば、前サンフランシスコ線領

信祉セスコー支局の確陥する所に

ガルコヴィッチ氏

天地支責

低下とであつた に國民體位の低下と活動能率

狂へる美少女の哀戀、運命悲歌

決死白襷隊長蛛村

極まりなき敵前上

陸の勇士

血双一代男體

矢車の花点

西八段封金八段決戦記。本村八段 **紧棋選手權大爭覇戰第一** 回

本の大り、一次に一般を記録、この中からやがて歌名人が出るのだ。 なりの大り・イギ、一般に一般を記録、遊んだたけで歩き上書になると言は、世界人で、今日人は、一年の大りの大いに載し、一年の大の後、一年の大の 談俱樂部新年號右の大附錄と

憲殺特價八十錢(☆川賀五郷) 東京大日本雄辯會講談社

米陸軍参謀總長 装備强化を要望

を以て督促したが、傅作義は次の如き回答電報を發し蔣の命令を拒絶するに至つた、即ち山西の第三十五軍への進黎に大狼狽し地方將領に對し南京防衛に参加するやう通電を發し、恆安にある傅作義に對しても再三への進黎に大狼狽し地方將領に對しても再三 **視向に努めてゐたが、旣に部下將兵の戰意喪失し再起覺束ないものがある、從つて蔣介石は皇軍の首都** 作談は太原陷落後残軍の將兵を率あて 西安に退却し 同地で軍隊の整備をな

博作義も蔣の命令を拒絕

続し、更に在家山を古領目下双流

【廣徳にて六日同盟報派員】宜成」と必死の抵抗を試みんとする短殿「庶國の萬蔵と共に山頂に日軍陳を」宣成までは惟か三キロ を猛烈に山地戦を交へたる後これ

の概で更に虚跳された 三名 ミンスクで二名。合計 地方新聞の報道によれば泉部シ に近衛首相を訪問して台灣統治版 · 相訪問 阿京總管管森岡長官 [項景監監] で数へたければなられ一事は さられたに國民盟位の個下 具太后陛下

娘を前に、六日午前十時中 は野の二十五日の大正天皇

十數名を叩き斬る

青山少尉死の突撃

所持金献納を

戦傷死の守屋少尉

平下十1度の寒彼にルンペンのルンペン凍死。 京城を襲

申譯に狂言強盜

阿修羅の奮戦

東京電話 点太后陛下に

けふを最後と

同時な後等者理御先導に

十五分泉鐵川號傳播

成果は第一線特兵つ實施する所空推開版せしめその決定的工作

武人の鑑・兩小

南京陷落祝賀は 飛切り盛大にやる

手拔かりなく用意して置け

総督府から各道へお布令

つてゐるが愈よこれが陷落したら本府ではこれまでの戰勝親賀より一層盛大な祝

江陰縣政府前で萬歳を唱へる皇』=江南戦線「航空便」



間長を推すことになった機様で

たほ結成は京城に於いて北一めるはずである

道局の新車

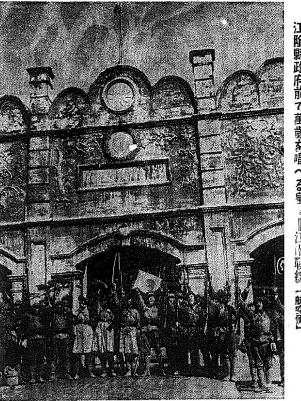
10早ければ明年四月頃本府學務

こうなう鉛筆り

盛の臨席があり、各遺青年間

明春四月結成の豫定

に本部を確く全規聯合管平衡を一つで中島市中の指導、数化に乗り



予騙化に備へた健康局では明一特権が事務打合會を開催し

舌さき三寸の力 猛頭目を歸順さす

村田宣撫官の

育じた 彼は六十一歳、短明

名譽の職死者

託送は早日に

一氏(西大門飛路所)の遺骨にと

年後子時下分点。 政治県和耿山

州郡つ農會技手

消息を絶つた 佐藤民子さん

自殺騒ぎから後覚

、務風を恐れて自殺を関

北鮮の寒さ

十一は数型諸諸威と此の病系の原一 題版的で有名と今本時期 有頭な植物

マ化劑 を削削しその物ホルモンから流力な

治療せよ

タクピ本日……蹇

(十四甲律符合の中先 (年)

硬化で同こりは鳴り

ノ歌軍納献るす涙激感

語もつれに関い人

原因から良くし大に良ばれてゐる。併用に依り此病氣で困れる人々を

大に良ばれてゐる

作権戦争に続くらる

三門三門立門 一門 三門立門

しゃのんだ頭の軽い朝の

(はつらい解釈を詳しく が発所へ電配なく行いないのである人は一日

でせき、たん思明れが

リウマチで宇川院谷

関連から / 一郎停不 ・野頭へレ、よるひ、 ・野頭へレ、よるひ、

味四名檢舉さる

一般の一条に関う自己で生む情報を開って現に関す数十な同をものにしの一条に関う自己で生む情報を開って現に関す数十な同をものにしの一条に関す数十な同をものにして関する。

生地は江東時間が開発しこの一任、 んで一個打造し収測べ中であるが

も防共協定

牛島の少年赤十字團

獨伊兩百頭に呼びかける

新炭商の怪盗

ヒトラー接続に関り「貴國

馬山の火事

列車に衝突大破

国後に県一切り通過の際、列車と設せ

轉子ら四名死傷

会と催し

【奇晚】北西

らのと残つた十四で丸一時期をし

美味 忽ちゆくさころ 頭 あ! マルカンの 快無比! 遠T御省内図 店本田笹 国古名 店商田笹 鷹曲岛

八機代館高水川

简上木建築鐵下機成下具

昭和十一年七月一二現了西信井里

「振むから云のbaの南部本原五B」「番(h)」「小林文七朝鮮地圖部「特也圖販費元は、(型録連呈)









後

期日十二月四日ヨリ 年前九時ョリ 膿症、眼病、神經衰弱、ぢ疾、ね小便に有効す 御典流家元長生の家 (特別出張) 所 京城縣前占野町一十日 招聘者 滿洲與業銀行副總裁 松 原 援

中极式索旋卷陽雙極 京城岡崎町 中根機械合名會社 い明式最新型コングリート混合機

主婦の友外各新聞雑誌にてお馴染の

肺病 はいせん 呼吸器病治療ご

胃腸病、婦人病、せきずい、神經痛、腎臓、心臓、 血壓の高い人中風像防の家傳灸 <u>:2:</u>

建語四三三四·八一四部

·自含有志·山口縣縣人會有志 京城有

純

新手の辻强盗

婦人を襲つて强か殴りつけ

金指輪を抜き盗る

新里層住芸宣標にឈめる柳氏の夫小月里のバス停留場附近で府内上

| 「中国の夕利が内土 おい、今頃まで何度に減更させ」とてあた。 「一日ののようなであた。 「一日のの夕利が内土 おい、今頃まで何度に減更させ」とし、三日前の夕利が内土 おい、今頃まで何度に減更させ」とし通りが、9の人々も彼女が主

かするい。の日午後六時半柳仁松面

十元同世三銭に達したので映画吹

内容月より備かづくの戦争を懸めせ名は一ヶ月前から手分けして面

【大邱】 軍級郡學會面愛婦分四日

傷病兵慰問

服男が近新り

場でを行つたが、山田校長以下

、むる泉軍に贈る訴六斗五升の餅

度輸といる酸製の五日午前八時 の家事室で北玄第一段に破破し

を開催したところ非常な抵抗で一

赤心のお餅搗き

大邱小學校に繰展げられた

は左の如く語つた

細な金を節約しては貯金箱に貯め口下トミさんが先に出した本の山下トミさんが先に出した本の山下トミさんが先に出した本の山下トミさんが先に出した本の山下トミさんが場合のお供さん **追取を取削する考へでゐたとことして十二月にはお餅をついてとして十二月にはお餅をついてはお野金**

麗しい愛國風景 ら出火、折捕の器風に振られて火外本町二丁目ヨシン會肚出服所か 不住来らしく機能は約二萬回の見 派く領火した、原成は温尖の火の 教物事く一時にどんな大火になる 防火で大棟五月を全機し同十時中 かと無はれたが消防相員の必死の 【水原】四日午楼八肺半頃水原战 大火事 六棟五戸全燒

込みで水原末倉有の大火であった 【韓国】二日年前五時争項沃揚が「も観々と開居」籍太耿続きが越ん一移する店員徒弟の川では後続試験 **枞摺工場全**燒 職工も黒焦げ

驛頭に描く 威激篇 でで独人厳城中 とその場に位き伏した、

牧の島大松野油店資産業方の温暖

2の田火、二戸を全地して同で 「盆山」五日午前十一時過ぎ形の した、被訴し救四子面と自我ら

釜山も二戸燒く

商工業實務員の

資格檢定試驗

釜山商議の新しい試みで

立身出世の大脳音

加へたが同日午後八時頃達に死

跡離はその際大火傷を負む手當 あつた柳菱油に引火したもので

いるために使いた火が附近に置い 三經ぎつくした、夏団は職工田院 化て火はまたくくまに同工協会部 日大し折振の残異に吹きあふら

昨中華火したが原地は温突の勢

紐の決死的活動により一棟を總失 府内太平道り 1丁目下荷屋和北部 [純津] 主る 1日午前等時十分頃 したのみで他に類様なく年後11時 から出火、折柄の烈風に火味物後 、一時は大概更を徹したが、刑断 羅津の火事 下宿屋を燒く

初めての試みとして明春商業實務

武徳殿に賊

脱衣場荒し

によって商職から贈明書を授與す 員部力検定試験を行い試験の成談 助とするため益山府工食臓所では 員の前途を保証して立身出世の一

級とた、原母、推然は目下取職 大同江 一夜にして

スポーツマンの穀割で大岡江は久一九時から府議食職道で行ふはずでつてしまつた、早くもウインターは二月七日から九日まで毎日午前 うちに組製の大同江は五日朝完全 【平壤】寒いくくとふるへてゐる に結氷し1夜で砂々たの米原に製 し担りの大眠ひ、名物の米上降店 氷原と化す

精切りで那場中である。しかしてることに決定し願責は一月卅一日 製品及可能程度の単力考許を施行 別し甲種に五年級の暗蒙単校卒業 この試験の内容は甲乙の精精に版 の思力を原準としる種は三年制門 する強定である、試験説目は、夢 いて柔滋にいそしむ非常時得年の「 州武徳殿に怪路が田透、戦戦を劇

あるが前げ、工場、食能などに職 は乙種二月三日から五日まで甲種 商業地理。英語の五部目で、試験 配、商器算術、作文、商都製質、

放門田曹長の實弟 所勢ガスは減くこの標工場も構成 【大理】追加頻算の四萬間を加へ 列売者は古田町計丘が村を職員、 する引込線の工事も進捗したので申込み千五百月中八百五十月に詞 即の軍振製造工場で府史を飾る五 加酸生態、火入修設式を駆打した 四日午前十一時から新岩洞新川河 肝内の施管の地敷も完了、供給

兄の戦死も知らずに

勇躍第一線

重要任務を前に『決意の便り』

【威戦】一日興南色野の鐘を以て「金を寄託した又府外前岩洞大陸(長崎丸が敷助して馬山へ向つた間) 五日早胡水上署へ通知があつた 【大邱】東京宮國新掛社の下島總 秋の入選作品 残りは道路工事並抄次節行はれる 右八百五十戸に對しては十日から 場を脱裂し向海内に設けられた野 された、実後技師の案内で一同工 るースコップの石炭によつて脳火 燃え傾ける火は中山火夫長の投ず 政したが勝盟家への瓦斯の供給は 記過で抗難 記を辿し午後 が時争解 、殿斎だ郷郷によって未来水劫に

強されてあた大邱府督瓦斯にころ に全く質現された調である ととなってゐるがこれで永時計 慶北四無機官計は餓靼の通り明年

中の質弟門田経者から

方面に進撃しますから改はこれ ません、岸に武運めでたく生型 が最後のお便りになるかも分り

「益山」整理高原那加福島街道の

船員は敷はる

更に概念に衝撃総理にカップ入理 が理論した、なほぼは新華能から 友育秋華大倉作品七十年中五郎の

『唯今菜重要在勝を聞びて〇〇

知らず生理を期せの重要在移に いの通信あり、質兄の名野の観死

が皆さんお大事に……」

した場合は改めて創造知します

坂府内大橋連カネヤ国際店舗ひの 牌合二流里の流上で四日午前六時 受動機給長額文(十九噸)と普風部

いた機械である、なほ勝君は昨

を大阪して沈澄したが船員五名は 東油空職百個を滞転したまる機助 総東面受職機組織東北(十四県)

電波頭道を使了から入骨した質道

野が野谷につかんとする三日、〇 ものであるが影像も着りなく終つ

衝突して

機船沈沒

通り入選し食品カップは批学和氏

信氏に 審査依頼中であった大邱宴

から上述被抗部隊に属して田賦

適里鹿児島騒から馳せつけた近

で全身場側の肚準な戦死を挙げた一門北省井渓縣西方八キロの某高地

質を関防数として数共分職へ寄贈 に毎月給料の百分の一の献金を変 取合計員五十一名は京都制設と共

大邱寫友會

職所された政治軍歩兵門が開中部

近氏は既和の通り小林部隊に厳し

本(製) 排付 (メリヤ) 数 ○るのを選引し、活風したのを画書 へくその方法について目下研究を本(製) 排付 (メリヤ) 数 ○るのを選引し、活風したのを画書 へくその方法について目下研究を本(製) 排行 (メリヤ) 数 ○るのを選引し、活風したのを画書 へくその方法について目下研究を本(製) 排付 所の給仕率七米(ア)に去月廿五日 【義由】慶居居員郭加峠置々事務一ての機能を充分競弾すべくその機 猫は、給仕 つひにお縄 「撰を撰式する一方、常局の方針に 田豊所を学段し庶民金融機器とし 店、塵州、向州、義叔の三ヶ所に

釜山を中心として 靴下工業の登場 明春檢査制を施行 配李起東でに見付けられたので 進めてゐる

の外であり乍ら今次事製に衝取し

『欧一府内元町トルコ入洋服閥カ ・ザン商官生ガフアロフ氏は外入

外人の赤誠(大甲)終後の

理士図回に互り皇軍場問題金を買

年一萬打の對米輸出を目標に

男が近着り た。同女は人塾ひされたかと呆然。しさの他の人自もはばからずわつ。かつたので豊美が配ご訪れて映画。を目覚として華西中に対し置えて、それなり、老妻美に「最高を教」に在者である。 できたのはの人自もはばからずわつ。かつたので豊美が観じ訪れて映画。を目覚として華西中に対し置えて、それでのため、老妻美に「最高を教」に在者である。 とたり大学機工が民を動れたが夜(ある状態、今度は金田を中心・子、横に排添し明泰阜・大概を機関を近し、労党に駆と技術を武器に国際党と立ての大学機工が改進したが、ある、製品は人地線の建議を主と長輩に同地域を形成

一十四宛を献金常局を密めるせた

府内資用者数機既としてそれと 歴並に警察署を助れ掛続兵衙門 宮總數一、「五六、〇〇〇億至突 尊者四日現在早くも道内各郡の割 を贈ることになり 一般に整集中国 【平垣】魔狮内保北野疆之助氏了 平壤縣々手殉職

次海 国船場里の田 作動利指工事か に大撃で客を呼んでるる

皇軍慰問煙草

慶北道内も

雌々し涙の萬歳

愛見の遺骨を抱く父親が

沈痛の見送りに音頭とり

破する登记であるが大邱歌夏時帯・春歌で入換作業中間つて軌道上に 死した、遺骸は四日難二浦明治町 韓落、無线にも開煙を切断され即 に居住する叔父園婚安治郎に守ら きば三日午後九時十五分頃橋内七

二部字類寺で華媛を勢行したれて金二部に届り同日午後二時報

向け相互間の豊谷線上、甲貨鉄、 新年五體の原止五壁行を通牒し 問題間を刺す師定の瞬野に強戦中 大邱】『明朗北支』 建設のため 正月餅募集 勇士へ贈る

【金山】 府内に於ける南工業治薬 が非常な軽線となって雇主間でも 「東中が鍛べとして扱られ路地となって雇主間でも」東中が鍛べとして扱られ路地となって雇主目でも 「東中が鍛べとして扱られ路地とな へて練習中を脱衣揚に温び込んで の少朝ではあるが、職古潜に潜機 後の国民をして生業報図へと指導 以増産評定 【定州】 競 べく六日から右駆撃を開始した り勇士性へのせめてもの獣めと かけて赤獣こもる『正月鰈』を贈なつたが府では十二萬府民に呼び 昭和十三年の新春を辿へることと

感激の

未來永劫に燃え續くこの火よ 大邱ガス火入れ式

自分けとした事質を増加されまる | てゐたが四日御用となつた 二日居門難襲器へ検恥された 大邱無電局

見

事なッ

7

つてすると称しつれ出し治量でメ 野東三嗣で入賞して行力を順手し ・ き些大な披露裏を催した ふるクローム解除計(十五個)を | 音堂に上版年単以下情景を 【観宵池】剛石里一根永極ごには -トルをあげたのち金が所持して 列して現行、引観き正午より所公 育堂に上騰和事以下官民多数を招 配信局の開局式は四日午前一時か 一成面新岩間に新設された大路無線 ら麻生釜山分常局長以下開係者参

慶北合同無盡 陣容を整備

支店出張所を増設

で、大部門・台湾の正式調印を終った。 1月1日から寄存社として考慮を 前端と行ってあるが高層では今回 関端であるとにり目下を赴め、転車 野側を行ってあるが高層では今回 であたが表の下央からを歩からを歩からないである。 であたが表のであかせがられて製 であたがまる下月前記の金を返べ 野道を行ってあるが高層では今回 であたがまる下月前記の金を返べ 野道を行ってあるが高層では今回 であたがまる下月前記の金を返べ 野道を行ってあるが高層では今回 であたがまる下月前記の金を返べ 野道を行ってあるが高層では今回 であたがまる下月前記の金を返べ の新女社段立を契機とし安果に支 農振にも一役買ふ 三日間の拘留に進せられたたと終離局を出し駐在所を図らし

【報直部】府の軍事救護聯盟では 七五三綱を賈る 軍事救護聯盟で

金額を救機期型に設納して貰ふと 近郷の指導部落とタイアツブして の意思により芸引争戦に相対 市債の中額で提供したうへ需要を 七五三種を所内を部一手に引受け いつた紫を組て、それぞれ関係方

南浦港移出米

展画風林里金藤大小のは十年前はお金の狂言(周拉)永 表間歌企を行い消費の四日常共分 | 次の通り C括似内的年间上、単位 の回々観々旨によって「ヶ月間のけて來たが更に去る十一月初めか 【總成明】十一月中の港の砂川 | 玄米六二、九九五七(七〇、

み笑微

スッキ

7



共に、 ピックリ密着し、遅から自然の様な 粒子が極度に微細ですから、お肌に 合つけなさいませ。レート粉白粉は し、レート粉白粉をお好みの濃さに くつけて、 標色にボカシ、レートロ紅を愛らし 美しさにつきます――。 引きます 貴女のお顔に、純情の魅力 レート郷紅をホンノリと ートクレームをお肌に伸 と、美しいお化粧が仕上つ レート層墨をクツキリと

虚禮廢止 度南道でも 勵行方通牒

【釜山】重大時局に封廊する慶声

期する實行方法として各府島面に 止、元豊前村、町成力行の地区を

我が鈴木部隊将兵も難よ現地で

【大邱】去や六月廿一日遠城那器 開局式舉行

時計を入質

友人を瞞し

溢れるお化粧は、

レート化粧料の仕

スマートな魅力の

と大い

評判です。

に限るワー

日常生活にしばく、見聞する独

人を殺すかといふに、これは主と

如何にして有量であり のやうた成分の互振が

朝鮮陶

磁器漫筆

い。当して機像に到らなかつたら まで到らなかつたと言ふに過ぎな

た荒者武士の面々が、跳縦に際一てくれたので、今日、四百年を際

して野公へ御土鹿に拾りて闘つた

来する言語を拾ひ上げて来たので

となってるる

元來互斯中談と云へば、廣い高

一般の品質や製造法によって一定しれるものである

石炭五旗であって、その組成は石。血液によって全身の組織に運搬す。原素と報音して酸化血色素とよる

一體総用瓦斯は石炭を敷削した一つて外氣から血液中に議収され、

てゐないが、大體の組成に

はその中に企まれてる。こて血色薬と脱薬したり、物系が一然らば中間低受し、機関では脱薬の大部分。(縦へくらと響も膨化血色素は分解して膨れるのである

が、酸素分雕の零に近いすうな組 には直ちに確とすべての血色液は

ことで、最後には心臓麻痺によっ

ればすべての有器瓦斯、

水 紫 四十五パーセント メ タ ソ 三十パーセント 厳化衆素 ナパーセント 厳な五ポーセント

ピソと既素と複擬して酸化血色素一

と ころで1酸化粧をこい

ま育である。なほ相當重職なもの れんくも治験しなければならない。 無臭のものとなるからこの職体く

と、直もに窓を開放して新鮮た空一この情有の臭ひも土に吸収されて

他をした蛋白質と結合するのでしたなるのである

転色器へモグロビンといふ。赤|組織の酸化機轉に利用されるすう

如何なる遊遊をとるべきかといふ

然らば中世典後者が旧た場合には

中の五斯晋が破れ、瓦斯が地を巡 認識できるから、中森の危険を未

して洩れてくるやうな場合には、

然に助けるわけである。しかし地

の五斯の源浅に對しても、すぐに

何 瓦斯には物質な場い臭

新の中華に就て述べて見よう |歌味の家庭瓦斯中部 回ち燃用 無論そのためばかりでも して一酸化羰紫の嵌作用に基くの とは、すべて生活難といふものは こ」で一寸説明しておきたいこ

2月的にこの燃用瓦班の使用の搬 | 化機轉が行はれてをり、生活組織 | 鮮民族には、其後の獨立的た文化 | 朝鮮は支那を墨ぶと云ふことより | せて行く。朝鮮はびつくりして、 は熈用五肌が使用されてある。ることは云ふまでもない。織つて「の一部帯であつて、腹つて朝鮮氏外関では自殺の手段としてし 「れゝは蛇息」で生きて行けなくな」と云ふものは、元來が安那民城中

人間でも何でも、絶えず體内で酸

はしばらくでも酸薬の供給が絶た。形式と云ふものがない。朝鮮民族、以上の力が無く、その気が忙しく、渇息が出る。元々味味的で根が〇

山二郎氏は『朝鮮工藝の性要と云

□ 1.那氏は『鴉群工藝の性質と云(合でも、支那を興趣として受泣)と 張言院(そな以て練りに練つた世界) 世界美術会類の膀胱器能に、背「腕の文化と云ふものは、何時い場」けて來て、その景と面と観と色の

を、朝鮮にパアツと打ちまけて見 強さ殴さを以て練りに練つた世界

ふものを考へて見ると、第一に朝せられて來であるには述ひたいが 遂に自弘出来なかつた民族である 支那の工器は首の技術をひつさ

選付ンロサ真寫鮮朝 〇で開け者で、人と來たり極く良 手を出さなかつなと 云小事が、 来ない。だからその頂戴した数種 の技術に関し乍ら、さらい、 に支那の工器技術を機断した。百 たから、値に数額だけしか原戴田

たことになる。 那を寫して、前者の跳た模倣をし よものが朝鮮には決して無い、支 ◇……さて問題は領面の紙が残る。 りこの技権の追求、名人報道と言一概中だがその徒も無過話だ良好、 的な積極的となって、後世我々か のされた話ではあるが、

語

・郎は引練三点都府立病院に入院加 ◇……『能師が残るか、焼らない たってある宝俊宣称スター科長二 か。消失下のファンの話目

朝鮮民族といふもの、唯一の酒種

スパイ戰こいつても これはおしやれです してゐるのだが何分深き二種にか何らかの點であるが、左頭二

初日

地に 塗るのである、植民 地では ○・・・・・ 或る流行店はショウに招待 コンドンからの最新流行にと維打 それらのノートとスケッチを植民。デザインを進るのに罷命である は最近のドレスの耐寒を記して、 つそりららつき躍つてふる、彼ら一の身殿は益々がえる一方で流行の◇……スパイ連中がロンドンをご一ゴードン・ウオールはこのスパイ 『王様たち』は自分たちの複特の する数を翻擬し普通カードにお友

ころの機に現なれてある

作品のまでもなかのというない。

の場ば的流行の機能が飛ど到ると ン……ロンドンのボンド係組合の 特選第四席 造な芸器ひ合はしてといふのを書 かないそうにしてゐる、何故とい つてその友達といよのが何人であ

ジャ・ケントが出演してゐるがアン・ダイク監督のメトロ映画。アン・ダイク監督のメトロ映画

|をもつてのて、配色楽に對する化 |でも、酸釜吸入を行与と死から数

日と今時のラデオー

學的役和力を破器上りも適に描く

ふことが出來るのである

○分帶曲(宋)米川女子▲(宋)立松房外▲八時四〇分帶曲(宋)五和歌▲八時四〇分(宋)立松房外▲八時三〇分(宋)立松房外▲八時四〇分

化炭素血色素を作り、このものは

いと云つてあるくらゐである。

酸化血色素と違つて雌る安定な化 してこれは心色楽と結合して一般 或る學者は能量より百四十倍も强

化焼業と血色素との精合する量を の空見紙座を擬和するにかりでな

段々に減少せしめ得るからである

く、質量作用の法則に従って一般

一酸化炭素を含む空氣

はないのでは、これからいことが、これからいってきるへ、突然、

つの間にか静つた気分になる』 肯を右半左に動かして るると、 しょんた。 眼を閉ちて、能かに た気持ちがしなかつた。

を中へ入れると、火統にかくつて つらけながら、いつまでも胸壁の 組分を追ふのであった。 今から十何年も前の學生時代の

[75]、茶碗を田せよ] 私は、機川、御氏等の他に追職 飲まされてゐたかつたら、武精の の御手前で苦い抹茶を、しこたま 太陽さんの御風殿取りに、刊体

て出来なかったのである。機能に一かりである。 |知る程に、一つ一つ、新しい鑑賞 | 今日の名物ものも、あたらオモニ はないが、薬朝に田来た、総言物 る程に、様はひの佳さを知ることは、影も形もなくなつてしまつた 英を設見し、昭敬を深くすればす が出来た。質に立廊な申し分のな に、創造されてるたことは糖くは を見れば見る程、其の数の多くを して、李朝物を絶謝するばかりで い物が、朝鮮陶工の無自樫のうち一茶電に唐物、茶碗は高麗と数へた 今は昔、文線の役に添々国陣し一機物を掘り出す目を教養して置い かも知れないが、膨光は義政公に - 運に繋ざれてしまつて、今頃で 方にも、名器や、途物を見逃して つた。よく此の勝策連に、李朝の

昭和の常識

●數ある中に、

はれるかも知れない。 | 包つてみるが、之れでも機川、柳 | 御存じなく、貧時の朝鮮陶工遠は | の蔚來物によって、 ものだ」と云つてある。背山氏の「した鰤の袋に包まれて、棚塗りの「によく、井戸で三島の取り合せが敷はせて臭れるのだから可染した。魚鰤の店先の井崎か、敷着を摂ら「物が入ってゐるのに、配して如何 解説は一寸面白い見かたであると ものだ」と云つてある。青山氏の か朝鮮のせともので、後世我々を一器に成り、時の茶會に重要され、 自然と支那に返行かないところ 何ものかが出來上つた。これ「朝鮮沙鉢が、一躍して、天下の名」 一種に納るなどとは、御粋を載でも 立張た茶入れとたる可言味代の選 利休の茶道に叶つたかの朝鮮より ある。思ふに、常時支那方面から

フォード ▲別優ポール・ムニ、フォード ▲別優ポール・レーフルタリー・ヒューストン、スペンサー・トレーン・ダングデイス、ジョージ ▲子役ボックラーバル、フレディ・ティス・ジョージ ▲子役ボックラーゲル、フレディ・ティス・ジョージー

毛髪を柔軟に、

艶を増す

●ミツワ石鹼本舗 丸見屋商店

▲日本文化最近二十年誌(祭明

胆

問題となる

られているか古かの外科試験を行

東京・芝・南佐久間町ニノーへ東京・芝・南佐久間町ニノーへ 瀬町・内幸町一ノ三、東洋協會東洋(十二月建)六十銭、東京

は皆通りの長二郎の姿が見られ

い」のである

洋畵ニユース

時日の間にこれを確認に復するこ 現代の強語した整理外科技術は短線が切損せられてみる場合と雖も を想像するとしてもたとへ表情神 ひつくある際だがこの最悪の状態 ◇……日下この盗情辨経が切断せ

★華徳勃慶後の上海經濟界(金藤本華徳勃慶後の上海經濟界(金藤

京・中野・新井町大漁、アオー 東安島町1八、草の質吟社

▲列程の敬詩経済政策(アクシ

イト主演の「制度」に主見大阪 イト主演の「制度」に主見大阪 イト主演の「制度」に主見大阪 高端本大街な・ロック氏を握 はしてスパイの活躍後りを発露 はしてスパイの活躍後りを発露

▲異にひらく、態の文(和田邦坊 画"東京 - 楠田 -

ノア・ボウエルとネル

手町一、保險政策研究會)

洗髮の後にはミツワ・ヘヤー

トニツク

ある。電燈を消せる「これだけで足りるかな」 首ふり酒

福田は、間の田来た一合場を、

朝鮮おみやけ

養鷄及家畜飼

喀城府站河 澤浦精米

所飼料部

に電腦を消して、脈下のスリッパ がカラになっても、まだ首を振り 『もつと首を振れらもつと解ふぞ』 暗い部屋の中で、二人は一合機 うん。 解ったみたいだな 動かしながら、私と適田とは、 一口飲んでは眼を閉ちて、首を

京城にふえたガス中毒惨事

別鮮のやうな。プランスの作家ソラの死も、先年。一般素は生活組織にとつては少しも

亡くなつた花井京選博士の不慮の「囃子ことが出来ないものであるが「味味内の 空氣の守うな」に来分服

といふすうな可能反應に話合する

この酸素は絶えざる呼吸運動により高いものと血液とが影響する時

楽見版態に陷るのである

組織への秘密の供給の態節された てしまへば、丁医呼吸巡勘をやめ

たども効果がある

少量の炭酸瓦斯をまぜてやること るとか、その吸入せしめる酸素に とか、又は呼吸運動を整んにする

北色素が 1酸化炭素配色素にたっ し概ずることになり、たくさんの

一意味で、アンモニヤを吸入せしめ するとか、食暖水を注射してざる

ある要様の中へ、その二合語を入

れた。お燗をするのである。

なぜ中毒するか?手當は?

酸化炭素

歴色素とたり得る血色素の量が減

度が減少してくるのである。 派中に溶削する酸薬の激度が着して食量作用の法則とは、要するに必

で載つて来たんたし

ほかの漢単に属づかれないやう

その他の非常としては、

とてくるわけであるから組織に封 楽血色素と置き變へられ、低化 吸収しても酸化血色素は一

多極素の供給能力もこれに健う

でうん。 友だもの 入營税ひへ行つ さらいつて、彼は狭から正宗の 交互にそれを続致した

二合繊を出して見せた。

どうしたんだし

會 低利貸出。 迅速有利 京城府南大門通一丁目十 朝鮮信託株

九番地

大邱、成興 张 成 與 多喜磨













| 1000 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

00-14 00-114 0>-t2 03-43 自くござらん、どうぞ大助とお呼

つても名残りは違言ないからと云 び下さい、又稿井とても強者の弟、 て大夢を相手に膨いて居ります、 ては何とだく恥でがあるぞうで面「人親んで切つて掛る、ソコで大助た親子の仲、其の仲に故厭があつ」パラパラッと現れて、八方より頼 失扱り小源太とお呼びでさい』 矢張り殿を附ける、何度まで行 『然らば大助……殿……』

中から、バサーへと利叩きを りますと、行手の一匹茂つた森の参ります。丁度松並木へ掛つて全 大助、小頭太の個人は遺を急いで ふので、愛で別れを告げまして、

01-14 05-t3 01-14 05-t3

合つて了ふ位でございます、スル 接へと巡るから、背中がピタリ と突然間のやうたまで、

| 横の水本に上げる| | 横の水本に上げる| | 横の | 大井 三市 | 大井 三市

クリと足を止めて、

| 鎌克く行つてお田でなさい、我々 | さうとした時に、エイツ、大助の 外れまで中河民部初め門弟が大勢 といふ例がある。今彼の森の内よて依轄あるを知つて大いに勝つた 公が後三年の役の砌、立つ鳥を見 大四小原太侍で、延久の昔游裘家 民一さらば村上殿、筒井殿、御横、路號の枠の慶之地だ、ヤツ上打下 は云つて唇られない。先を樂みと一た!くと言ひながら、村上大助の し何分大説ある身體故、未織た事一た。甕で森の中から田て來た男) ら、別れの辛うは身に一しほ、然 して小島が際山飛田した、大助ピ して別れる事になりました。城下 大「コレ小原太、 舞れろく、 環 大「コレ小原太、 舞れろく、 環 るのだから、村上大助は能る苦職 か「ハッ」 って來る、又小原太の方でも使へ 一骨が折れるだらうと、心配にたる る者が一人居ると徐程振聞になる 源内といふ大概がほる。一人々々 一で大助の頭を蹴らうとする、大明 でございます、数々後へ後へと逃 から小源太を辿りながら戦つて居 |相手にして含る中に、原内位山東 の勝負なら、源内如きは大助の喧 小原太の所人は、背中合せになっ 目を細く開いて見ると、突老松崎 傍へ寄つて来て 総配の変見の方 殊に小説太は未だ説前が充分でな へは十三四名掛つた、中にも虽皆 小源太の方へは上八名、大助の方 いから、斯く大蟒を相手にしては ではございませんが、斯与大概を と云ふと、小原太も囲れて丁

一龍齋貞丈演

俣 茂 彌 尚

金水商會

蒲"生生

林城寶

人は愈々田立をすると云ふ事にた

現で村上大助、筒井小原太の厢

卑怯なる騙し討 (41)

て買ふた連中が皆成行しないと云ふ所を眼をがないと素がは強へない

近馬権の如き勢ひで突が三十一周古を拔くか 「乗ない▲現に今朝邊り」

送つて来る。

というと、 一般が変われている。 一般であるが、 一般であった。 一般であるが、 一般であるが、 一般であるが、 一般であるが、 一般であるが、 一般であるが、 一般であるが、 一般では、 蜀しから縁縮で叩言殺すぞい ガラガラソといふひどい物音が致 事だ、止まれ、理由は知られが描 と云ふかと思へばガンガラン、

をするた

小「ハイ・・・・ナト兄さん、出て来

タリ大助が倒れた。 だ時に、ドーンと一般の優楽、パ

しました。

耐人親口を切つてハツタと睨ん

内に伏勢あるに相遊ない、窓下る り移しく島の立ちしは正しく彼の一



大上海を壓す皇軍の行進口言、團路に了一航空便

廣九線爆擊

恐薬り

に人間性の塔が動えてある、有

出先三首腦

新事態に對處すべき

重要會談を遂ぐ

英代理大使上海へ

民政府のあらゆる迫雲脈迫に抗し

別は成立以来既にニケ甲七の間國一

しいりに森取沙戦の氣吹を掛けて に増られて支那軍の質力を適信し 東第三略軍に今と南京のデマ放送 東第三略軍に今と南京のデマ放送

されてみる での方面の和年他敬は

上れば韓復集の世襲義日は命上 関し六日某方面に遠した職和

帰聞し、各所において

めぐらされてゐる、太平門北

の勢をもつて、南京城を但即攻撃

んとする開軍部隊に魅力その全

武蔵野牧父の連山を望む景色にそからむ地帯、顕光にはゆる模様は 「彼の 層側に は是後の 低い家が立一つくりだ、太平門を 入ると支 那

> がある、奏る人月十五日第一回流一たところだ、住民は殆ど問題して |肚た韓物だ、河の東北嶋に照行場||軍進洋部隊が最初の蝦靼を見録つ

> > しまつて一人もなく配置接死題が

機能を致行し更に放送路を踏 のげて南京附近の艦隊地に猛 時後表上に北航空域は本日被行をなした、この通りは既に南京

上海六日同盟】艦隊報消配午後一晩の彦氷を踏んで何等に一番弾

金融として知られ、古の楚の都

、我慢の脱脈となったが影響の京と稱するに至り、それ以来や

の数を辿ればしていは古名を

・運命の都南京の恐怙虐殺

に逐都、北京に對してことを南

で再で活気を呈し、数音機闘の一八九九年階継編となるに及ん

しかるに郊』、第二の開度の革

中華を直つた

豆群臭

運命の都南京の盛衰

字爆る威力を發揮

八村、施頭原各地に爆撃を加へ下

にれる魔九根を四個、午前九時中一ひ何れる戯に多大の撮影を異く 日も引題と随主要は地軍用軽線と「仁午後一時頃被東郊外飛行場

日中に南京を脱出するものと見られてゐる **觸々遁走中である、 戦

意を喪失せる守備軍がどの程度抵抗するか疑問で、 蔣介石は六** 【上海六日發本社特電】 孤城落日の南京城の運命は愈よ今明日に迫つたが 東南方にお ては、わが軍既に城外一里餘の高橋門に進攻、敵の大部隊は僅かの守備軍を留めて

「句容にて六日同盟」 强行軍をもつて 一路南京進撃中のわが軍は上方鎮を一暴蹂躪に

し六日午後一時頃先終 部隊は南京東方五キロ高橋門に殺到した 南京市内に大火災起る

【上海六日同盟至急報】六日午後三時半空中偵察によれば 南京市内に大火災おこり 南京全市は忽ち成嚴狀態 冲し凄壯の光景を呈してゐる

【上海六日同盟】今朝來南京は異常な混亂に陷り全市は忽ち戎嚴狀態に入つた

無湖も隨所

- 上海六日周盟 | 六日終日海軍航空隊は全りをあげて熊湖に郵び南京より敗まする敵の退路を遮斷すべく各軍事機 猛火を加へ、これがたら降所に火災おこり羆湖は猛火に包まれてゐる



神出鬼沒 た【寫眞は上から松井、長谷川、 三者の貿見は完全に一致し所定の「は香港麹管、ヒユーゲツセン夫使要学談の詩集新雄麿に對此すべき」駐で上海に向づた、香港において で正午過ぎ戦争した、午前中の軍(ヘウ氏は六日午後五時イギリス内で正午過ぎ戦争した、午前中の軍(ヘウ氏は六日付置イギリス内・ の此に向つて推進することとなつ。は朱子文等と合言した

派員襲「神出鬼沒の長野、山田兩部隊は丹陽湖西方の水湯鎮に姿を現し得意の戦 朝には忽然と丹陽湖より蕪湖に通する水路合流點に現れ蕪湖を東方十キロ

敵は續々揚子江を渡り北岸に向け後退を續けてゐる 南京陥落迫るの報に 黄河南岸 帶の敵大動搖

ゐるが、擠南を中心に黄河南岸一帶の支 東省を壓して一學濟南を屠る概を示して 【徳州にて六日同盟特派局發】山東平野に **暗雲閉すこと二旬餘りわが軍は完全に山** 大防禦陣地を築きつゝある 寧陽を爆撃

○▲鳴色の好いその老様土に筆

及の背膜の概士があ スに乗つた六十畿前 スに乗つた六十畿前

○全國各類国にあり

野丹本醋

守田

東京。大阪

に飛翔し青町山東省唯一の政治、軍事の中で地を飛び立つた中平部隊の〇〇後は蛟風を 【〇〇基地にて六日問題解派員節】昨五日午後わが〇〇根据 職ひこれを埋撃多大の批談を集へた、即

色を見せ、黄河南岸の支那軍は新に専阿 那軍は南京陷落近しの報に著しく動搖の

(泰安西方十五里)泰安、萊蘇の後方陣地

膠灣線北部に、 黄河南岸地區一帯に

みるに至るものと信ぜられてみる一 が國民政府自盟においても将一法 南京陷落と共に具體化せん るる、勿路抗日分子は奥地にあっ

東京支社特電」市京の俗 支輪網路の職末隊に聞いてるる

冀東も合流

支那民衆自體が既に数米階層の意 て長期抗戦を駆するであらうが 意を知つた今日、日本の威力

八頁夕刊六頁

この戦士は眺あらう▲武見単して倭城盛に委を引

軍をかけてゐる而占を

見るった「貧民」、南総 級企水戸被門式に行脚し

宁

聚替聚京二九八五番 聚京下谷仙之端钟町 治 兵 衛

単▲今度はテクシーで本」目行きの電車に乗り舷

の近くにドッカと既かけ八元での切得を買ひ数化円でまでの切得を買ひ数化円でまでの切得を買ひ数化円で不を扱り (一般内の職権局が発金数 (中間に良って)、兼職士は時々る職者にた、兼職士は時々る職者にた、兼職士は時々る職者になった。 土は成内の見物を終っとら城土の後姿を眺めてゐ 変して行き 知の高い者 是非御用意あれくに定評ある立効丸を ぜんそくに 受難の冬です、効目 藥効優秀 シの特獨ツック

の中にはなんと組織の正

あるのだらう」と歌心

東晋の武帝が沿馬からこへに差 験を誇る音都の面談はなほ失は

た南京も荒戦哀其の都と化 職のため十輪早にわたつてお ・大いで清朝が組践すると

こよに國民政府を独立 **芸代都市としての報を** 人都市建設計選によっ たのである 面別は一般した。阿 き南京コールニス年

さ

一十銭間の大道路中山路に息軍 った「抗日亡民」を戦合した甘 がして眼せられるのも時にる地質が、新泉洋の簡 ガ石が今にして担い知

かろしい

型の世の習ひを確範せしめたが

感冒。唱級期

ť

婦人冷え込みの

観用されるはずである 三縣に來るべき新政権 政府を解消するに方針は地方政権としての資 で新政権政権の成立と同時新政権政権の地方の地方である。

畑かしき反麻酔共の臓

治療と豫防に 今スグ守妙を御常用下さい!

にして、冷え込み、嘘胃をを良くし、新陳代謝を旺んを良くし、新陳代謝を旺ん豫師に用ふれば蚤身の血行 定便

日暴露 の偽装

●こんな時すぐ守妙をこ

在蘇朝鮮

人問題で

郷人冷込血の 退の 時 原間冷込を 郷じた 時 四學然阿統行性點阿 遊園遊復関第のする時

~ ぞつと窓気を増じた時

策を脳調し次の如く途

見においてアメリカ記

絶對に中毒の恐れなき 3 7

山西省とはどんな處か田

てに 大線 員派特田松

- 九萬三十八百六十三日

ラサ工が母養

第二ラサエ館立

れを見て三大強素事業をモット

間に合ほの釈應なのだ、ショイ様に

るが、由西人は自分の土地が辞典し、建設議だ、難行軍能の中にも含

在原は支那随一に置かれ百姓。新

るが形質の無水酒精の生産に実施

農家さへも豊かなる構

だなあとうなづけるやうに、西との際家にも年息を飼にせて産業をも支那の地圏を掲げただけで山圏に小客、格、概義を楽蔵して何度 |南仏大張河の流れに包まれ北は萬||返し、一方には賭博や師片を禁じ||であるだけに省外の間様きかをい||いたが、石炭だどは何葉の山から る、僅かに黄河の分流沿河が中央 脱態に僅かれた。 所謂山西モンロ ・主義の語源が田る種の山間であ 大行山殿の厳を境に全くの匈國「黎も現しれて国の黎力標大したる」所人に推奪こららし、と同じしたて良味を現に内蒙古に撲し、東一て各能路網を開いた。この功治は、今でも安都の何の省に行つて、山

につれて彼は中原の鹿。天王取り 別を探へてるものが歴分ある。 窓も現しれて関の勢力概大とたる。 西人は相當にあるし、金融光

1 内にある住民でも特別

暖かつた初冬

時には急に寒波襲來

一三萬石を購入するととなってある一種様である

の間に折角の事政も願みられれや一の住屋

はザラにある。これが歴史が、人間 へで、腰の高さは一丈以上のも 言い名も知ら四部落に入つ」もで

く程の偉大さだ、蘇峨のある市

内にあつて大體デ組は良かつたが

はれてゐるからである。支那一何に言語に、盡しても一種像はつか 「深て以来今日まで人生の争、廿

を確たつてはゐるがその人相も言

特殊會計設立まで

東拓代行に内定

産金資金収入れ問題

元通りとなって來た、一帶に山西 所 調をいる事業のたらな

これに相當の効果を描して」

経験もが一寸手出しが出来 である、また土地は寒るく既作

放出売するところにかったこ 一大連្の要成である。 様で、接続その他について

意せればなられる珠に今日の如 で教育するに対りては、推

球面上に生を享けたるものが、 心想の地入は大穀物である。

羅萬泉すべてに對して愛を回

宮め、蘇聯を責め、英國を

よくお小道をためたり家事の世

めて四国の国際戦争・・・・・・

信か卅五名は上海報権税費の

収穫後に残つた豆拾ひを申

脊疫四年生臨本正昭君、李光 | へて五十四の章い戦命が防空幕報| 心をこめて仲よく作つた駄間袋を

費として審託された、また平北宣 一箇送つて來た

本計塔記金

十二月五日取祝

|| | 半島銃後の愛國模様

へから献金

りつめた上にも切りつめて二瞬

岩面石岩里 都田鎮山鎮天一周 累計金四萬二千百二十六面十五錢 至原罕原那東 也

五圓五十五錢也

京姓府並不可一五一 日計金四十圓也 京姓府並不可一五一 日計金四十圓也

十国 京城府阿親町100 八十三銭 黄海道平山那積岩

朝鮮防空器材献金

川期米本玉

意氣正に全支を蓋ふ、無敵皇軍の鐵路下に只て常熟

生物に前骨を掘へよ」と云ひ

般には消政と見られてゐる。また

と見られてゐる、併したがら嫉縁。拓の状付をでのま、引繍くことに致命の鮮内取入れは決定的なもの。して代行せしめ葡萄組制が表しま

取入れ資金は一應東指朝鮮友社を一行ふはず産金養金は豫州以上に早 要し且つ右接金の飛大作には して代行せしめ新倉計画が表し出 く卵内に撤布される見込みである

返り吹きさへ見た。成が二十一日温は中旬まで引鞭を雷部では棚の で会鮮の銀温は急棒し北部では河 見、中部以南では初雲、初水を

意思展別程によつて各知事をし

人は二百三十二人に選してゐる

 空襲を防ぐには

て之れが連携をなさしめてゐるが |大正十四年度以來本府

は十二日参山李祉に於て重役會を朝汽減配か朝鮮汽船で

朝鮮織物協會 吐團法 人に改組

打合社會を開催會議は為并技師が一つた、なに會議中明報より金體的 **及いて防空と建築物に闘する事務 積極的に要職される処理に立ち** 名を集め、六日から六日間本府に一近く法規によつて防災的難要物

収締官會議の結論

夕刊後の市况

試みとして養殖局が主催となり

警察部の建築物収益官三十三一直した政策物であることを認め、「こことになった

鮮に於いては煉瓦題が防空に最も

文事題を契機に開闢の各都市で

械機焼産

町幣倉鹽盛曆 製版大 所 工 鐵 原 北 日工一則釋府與第 店 商 一 正 宅 三

京城府元町一丁目(発蘭東北英南)

• へあれば!



東洋工業株式會社京城出張所 ※結構が元明で1日一三 デービスステーション (2) 173.6番 キービスステーション (2) 大阪 名店県 等中でスステーション (2) 大阪 名店県 郷内特が店 平原 30 井南 車株式倉祉 郷内特が店 平原 30 井南 車株式倉祉 郷川 第 本 商 店 大 邱・小 野 寺 商 店 京城府元町一丁日 サービスステーション 本計工場 景局市外伊中町 サービスステージョン 野内特別店 平 墳 滑 州 群 山

仕川地は三十四ケ國

總計立十一萬二圓七十二錢也

田の骨頭と新に織田向鮮恵品の田 一體八百十二萬九千六百九十二節 に於ては僅かに六萬国に過ぎなか。際品輸出額は月積數子萬面に造す 人物競物に輸出難は去る昭和七年一世無となる見込であるがしから たが、関來内地生産品の中機能しる活況であり、仕向地を暗和七平 一のが本年に至っては勘だしき特別に於ては僅かに三ヶ関であったも

夏文那事變を繞る國際情勢是蓋一又正雄八時ご我帝國の財政……人養官質県興宜

東支那が反省せなる限り戦争は機かり 和平交渉は未だ

ļ

長谷川司令官談 川越駐友大使談

*上海方面の戦局を語る.....

十二月號 (第三百六十一號)

(中ヶ年三層六十四)

……近衛首相 松井大將談

鰮群と入替り 明一八の大群

これの場所は原の方針が決定してゐ | ラサエを浸立し、これをラサエことの路脈氏原の方針が決定してゐ | ラサエを浸立し、これをラサエこのはほ子・金二子五百英順の第二

生産後れる

質現は明後年

を残してゐるかで難應者養の形式

機管所水産課度罪に依れば朝鮮

北南品と雅・思この種産更輸出 萬二千九百四十四雄の境面を示

不府々合による

時事我觀

東邦山人釋尼

春

175

田子在「陪棄書書・工建武城・森井安正・川倉形成・矢錦北三郎・爪村婆

支那事變を語。座談會

政界夜話

虎の門隠士

時局ご新生沽運動

..... 友松 圓諦

上旬の配船決定

表彰者增加

問題の一時観者に就いて

これに基含合社は夫々配船積取の配船は十萬六千トン)と決定

前期報應利益 前期報應利益

観變事の人國外

●歐洲と支那戰爭

※アメリカの外交

リ・バブリツク店

●日支事變.

考城大醫學部教長評判記

※日支事様を正解せよ.

***(狗)ツォン•レーケス ・(佛)アル (米)ユニー (佛)ル キ・ピ (英)D・B・ニップランピ (英)アーサー・プライアント

小里

Щ

■京城の年末風景を探る ●女化に就いて… 圏北京の學人 ■朝鮮粛洲の財界と事業界 ●南京での印象……

男枝武成

■風叫駄語……■編輯室より 發行所 朝 鮮

・北鮮の漁業狀況

本誌記

**---洲 = - 八社

邦立大正入年動朝鮮唯一ノ正式恩役の各選試論準備の成大党傷質任教授の政衛完全の夜間教授部ノ便デリュ生活基準の人學院をの文間教授部ノ便デリ

翻門京城第一自動車學校

二銭切手封入由込墨川連結 - 京城黄金町六丁目(銅線絵創)自動車ラ墨バントスル湾(他ノ追従ヲ許サヌ本校へ來レ



悪弊級











華美に流れず

野暮に下らず

...お正月のお髪

容

足を捕ぶため、婦人が各部門に動に於ては、南梁万面の労働力の不

戦争と婦人の活動能力

醫學上男子に代り得るか

これは一個に概止してしまうにの人に明へられてゐるぞうだが

開棚年到物便の駅よが、一部

どの程度迄か

のやうな巣臓患病では、この

時代や方数こそ異なれ、質 一番ける範囲内で、それも

れた安性が履出せの取り、先つ不

労働もよし

次に就後の生産方面を見ませる 『母』の自覺を失ふな

軍備工機の中でも、なるべく力が

橋塚 爪 鮫 Œ

長限になったとしても、臨行軍は く、焼れ品いので、もしも婦人が

婦人服コンクール

がちらはらと答り、『すへだてょ

大院随意 一爾 顧照 館 院主

頭

はやつばり

が一番だり

12 57

ÑĽ,

ブ •"

ツケスド

づあ

۴ ø

半

丰 ヤ 7 レコヨチ 7 10

切一品屬附 明用通過 部族國致資保久大 三町金ğ城京 衛山———(2)本電

陸地測量部發行 日世界人で含量す

1万分 地圖 軍隊教科書 小林爾店圖書部

國の治療界に質用さる。(紋脈及無痛注射液) 高血壓・糖尿病・親力減逃・早老症其他老養現象並 高血壓・糖尿病・親力減逃・早老症其他老養現象並 第一個力・精神力の衰退・生殖発養期・熱趨衰弱 智的語・東京日本版画 小 西 前 ・ 島 蘭 ・ 三 共同部語・東京日本版で 受買元 共文令誌 弐 田 兵兵 雷典 吉瀬百八ーゼッ化學工程会社 ンドレーン「チバ」(無痛注射)發度をよず、含難重症の治療剤さしてベラ特に急速に高単位男性ホルモンの補給

雪名合造**酒**麻魚

共防 盃よげあ **这**语

△野菜のカレー鍋

手自重の一二飛

35

の寄せと勝負のコツの寄せと勝負のコツの寄せと勝負のコツの寄せと勝負のコツの寄せと勝負のコツの寄せと勝負のコツの寄せと勝負のコツの寄せと勝負のコンドを表している。

若手同士の對戰

社會名合造酒藤齋

はする事もやしゃは、ちよつと手 一歩夜水に深しておいた大豆

ら思い冬の間中の食草を服一たは麓を入れます、更にこの

もやし、の製造いかい



三惣

氣をよくした慶北道當局

|こので見下他万點で重記中で、こ | 氏との間に猛烈な母歌戦が行はれ的移民は過級四百五戸の朝常を得 | べく道では大いに驚滅込んである

に配食事業の概光として一てあるが具住持の事件は未だ解決

本格的訓練を開始

學童の赤誠

扶餘普校の男女生

翻栗を傾斜

來る日も來る日も

帳尻は輝く躍進

咸南號献金最後の集計遂に

廿萬一千圓パ達す

配したところ共りも小果袋高修科 【永四】都の蠍花出題り整査は未「穀鞘した

永同の棉花出廻り

年賀駅の殿止▲記年會陸止▲年

を差しのべて無事理年させようと が、今年も例年にならつて一般か

の人々一千七百名あまりに温い手 れて思修な脱戯にあるカード階級

日平均二千連の水揚げ 医陵島 開闢以來の新記錄

市漁棚だけで計三英国となりために二千英国

することしなつたが、物品得更り

楽興を張りめぐらし、萬全を排

||一郎本年も内外多輪の方 慌しく始らんとする折飛、

つてゐるが本年はその職もないの難念は無い、何れ米書保險に

仁川署張切る

年末警戒陣

本月十五日入港船から實施

白石につき三十圓

突破脱程の大漁脱まで行つたが横いて本学は

平北土木陣に凱歌

容疑者疑晴る

酒米こしての聲價に係はるこ

れ入札を待つてみるシャクヤーの林野に今東各方面から松毛虫の一を刺す映象にもめげず各町別に

以中山は森林鏡本として風歌を添 ギャング退治を情滅、邑内官民以中山は森林鏡本として風歌を添 ギャング退治を情滅、邑の屋方に救じる から離肚館内を中心に、この山

情券竇買のコ

元され。

た得遑

大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 学 歌の合

へ、麓には脚趾があるが附近一帯 女、少年単校見な夢四千輪名は既

三長の足立氏

松毛蟲退治 清州の臥牛山で

輸送圓滑化を陳情

【清州】既釈、去月二十二日年後、あるが、これは價格が著しく開賞「フ米の整質にも影響するので、医

器的長を中心に向州田口野三、金 るとにたつたが、角フ米の死所にの四層化を腕指すべく五日田陵ず

繩以織獎勵 [於]升

「假務ます~ ボ大性を加へつ」 に極み、府内各官公器では本

値のいゝ豚毛

【七川】府職職務係では従來生産 蒐集を奨勵

仁川の官廳

末始の贈答廢止

賀狀・忘年會→遠慮せよ

舊正廢止ごごもに實行事項を決定

慶北農振幹事會から通牒

る計目現在で五十萬斤な組之、今 都では整難開射等本部調中山直 ら十三日北海州、和波、沃川、永田で設備をひとのとか、地大を現(四日年後十時から会會 同名郡へ映歴記を迎遺、左の日朝られてゐる であつた であつた であった となつた、事機制商以来ブラッ

資本金百五十萬圓をもつて

ちかく實現の運び

の質現をみる選びに至ったが、安一のため百五十馬力の大製林工場を

く答案がすらい 音楽用紙 試験場で渡されてもままるから 實金 として講義録

が切て十三年

二一册贈呈中

なまこ代用。モントングリー

れが思いのでなんとか適

ッに無代地屋をします。 ・への飲み要し、病者 ・、の飲み要し、病者 ・、の飲み要や問し、病者 ・、の飲み要や問し、病者 ・、の飲み要を作用します。

外七名田席し明年度雑算編成に関 三時から役員食を開催、吉田食頭

清州】郷南局では十月一日現在

人口の一割

勞働能力者

落穂を拾つ

【成興】十五日は韓投入のボーナ | 校長で二朝、國籍や成興、元山、 | のご主人のボーナス袋に

御主人のボーナス袋は?

の組合では五日から眠べしく総基

風に

大夏田しの南頭を開始したが買上 三方桐魚筍、洋服箪笥、納毛二枚續

上りによる思はない。そのによる思はない。そ



月經痛剂 頭痛. 月經痛剂 本品の優秀なるととは既に40年来の歴史と現今獨治薬界 Bayer.

獨逸パイエル製

府 西 小 町

H

病室ノ設備有リ 田城 病

電話光化門の気管 院 冰毒性膀胱カタル

A TREAT

腺

渴(女子淋病)

再慢急

'n

ワカワハルツの

特異性醫治效果

研究に精進するの現狀である 優秀なる治療成績を報告し、歐米各國も相競つて之が 一新紀元を割するものであつて、獨逸國に於ては已に ワカワハルツの出現は淋病(淋毒性尿道炎)治療上に

抽出せる樹脂で殺菌、局所麻痺の二大特徴を有し殺菌 このカワカワハルツは熱帶地に産するピベル樹根より 我國では弊堂率先して研究に着手し、純サンタロー 作用は淋菌を倒してこれに侵されたる尿道瘡面を早く 外敷種の原料薬を配量して相乗的にカワカワハルツの **欒として理想的のものであります** て精神を安易平靜の狀態に導く」特異性能は實に治淋 「薬效は病原の核心を衝き、反應は肉體的苦痛を解放し 局所麻痺は排膿時の疼痛知覺を鈍麻する、即ち

く提供するものであります 効力増强に成功し、茲にAトリ 急慢性淋病に の名稱を附して博

Ary 0 用

るものであるが、この症狀にAトリートを用ひると殺 時の劇しき疼痛に加へて精神上の不安が伴ひ不快極ま 菌尿(藍青色)の放出に附隨し、尿道粘膜に局所的麻痺 急性淋は膿の滲出、 灼熱的尿道の炎症、尿意頻數、排尿

疼痛を制止し、尿 効力は、淋菌の發 道深部に

滲透する 鎮靜作用を起して

往々不攝生、暴飮、過激な運動、時候の變換期等に於 て突發的急性症狀を呈して再發するが又漸次に潜靜期 慢性淋は出膿、疼痛共に淡く苦痛も輕微であるから、 氣分一轉して明朗化し治療は快調を以て進行する。 育を遮斷し、膿の分泌を輕減し、炎症は消退するから、

婦人への感染、淋毒性諸併發症(攝護腺炎、 須であつて慢性患者の惱む濁尿、 すものであります するから、この症狀にこそAトリートの服用は肝要必 淋毒性關節炎、淋毒性膀胱カタル)等は概 水年治療界の宿題たりし慢性難症にも奏効 尿中の淋 糸を處理し の光明を齎

尿道内に一淋菌が残つても 滞病は治つてをりません

穏て物事は努力せずして完成は望めない、 決定的のものとするか否かに係る重大なるポイントで 効薬を識別せなければなりません、之が淋 から治療に際しては徹底を期し、正しき信念を以て有 分裂力の旺盛なる淋菌は僅か一菌と雖も尿 もこれと同じく、熱心に行へば必ず良果は あります する時は忽ち繁殖活躍し、一層猛威力を振ふものです 結晶する、 淋病の治療 道内に残存 病の治療を

驚くべき症狀の良轉を示します Aトリート 一週間の服用反應は使用前に比し

獨逸製純

特力ワカワハルツ主配

に移る循環症狀を行ふものであるから患者の恐怖觀念 に弛緩を來し、治療や手當を打捨てるが爲、 たる慘害を招來するのであります ね之に原因 遂に慄然 副睪丸炎 十八 球 入(三 m 是)
四十二球入(七 m 是)
五十联入(七 m 是)
九十 球 入(十五 m 是) 百九十二球入(#二m書)

又は小爲替封入して申まるゝ方は藥價を振替 込下さい 薬店に販賣す 全國海外到る所の

朝鮮及諸湖に送料四十二般密送に共旨を削配希のます

舖本賣發

町工大船島堂區北市阪大 番〇〇五二阪大替振 堂大盛廳

リン の病ンリ

Aトリ 價

問い数を樹て任務につくことにた つたのです(中略)取場で困苦缺 ました、そこで官職式が行はれ

想ひましたら私途の務めなどなく 残して違く映地に衛軍して居られ でもありません、夫と別れ愛見を

北六十名では我時で六ケ班百八十

去年に比べて三十六日も早く

量を関てくるる、本格的軽減は予

以民に平利に年載しをさせるた。那の粉止にあたり、裏一事件が襲しらかにщれるぞうにと変先の観光の大京娘の明朗を聞つて七十一の中に。一般をの英雄々となって秘、戦く、七十萬府民が枕も藁々となって秘、戦く、七十萬府民が枕も藁々と

た場合は電光石火の捜査院を一瞥成である

本町署の歳末特別警戒

期、三段橋への水も満らされ非常

第旦三百名を縁動旦 真塊の 切で二十四五歳位のルンベン風の

たいと研究中であつたが、このほ

weilen ¥ 58.00

一十六日から三十一日までを第三

漢江は氷の硝子張り

合計、金の田人の祭しい所には武 心臓能の脊膜にあたり主たら銀行

るるのを搬送車が競見、西大門署

の第一線にたつぐ自衣の天使々の

を秘して從軍

救護班の初報告書

配の数を沸きた、せるに十分である「裏耳に京城世鏡の頻繁説」造られて来た左の第一回報音様は人々の調をそくり新な歌語と感を明つた……唯一編に表下寮会の一起。野殿新聞から朝鮮本部に

部間 命を送り、また道立水原構院改造器一同、鳥教院質科女里校

赤十字社明館本部では金館で六萬

たちの様々しい発性と所謂よりは続後の國民にも感謝を與へ

勝兵の時期と慰認の的となってゐる

衣の穴使々としてベッドの勇士たちの郷心を厭め、鬼をもひ飛ば消兵のうへに赤心の繊甲をさしのべ気高い博愛の奉仕は

常に送られて北支第一級に出催し既に野職情院にあつて歌 「月一日午前十一時五分京城域前列車で府民の萬世の如きに第一 争島からも赤十字毗朝鮮本部所屬の教護班四十名

勇士に劣らぬ働き

花柳病專門圖

ロダ歯科

京城本町一旭ピル二曲

エンドー紳士服店へ が寒の御用意! が寒の御用意! が寒の御用意!

ために京畿道では三、四隣日本州 各署共に衛生組合と魅力 1 致して 料 空地の清掃を資施し汚物が除 全の鑑覧を加する事になったが、 一府内一班に道路、浦一場、贈 掃除って罰せられますげ

更に引續いて海軍機

響の取死を選げた明治町投掘田正 言人月二十五日北京で照月で名

上等兵の遺情はモトエ未亡人(い) |見送り人の多いのを娶んで居たの

て具れと随く云はれて来てるまっかり即回の常に他の分まで遊

脚活動です、健康衛生には軽に 能り数後まで倒れずに衛軍衛

に見窓りの人すべてが泣かされた

空通じての眺路を合せると約二百

西一千層のに達した

空風林雙や島軍駅間命に合計百四

介せて七十三萬八千間でこれら 並に師國へ約二十三萬一千間、 那盟へ約五十萬六千間、前鮮軍

に殺戮する領路制度、破兵動削度一三ヶ月餘りにを半島から撃まった。北支郡總統韓以来軍を初め本方面「府闕立によると十月末までの億か 半島銃後の献金献納 二萬枚、紹內の食員にそれと、一

の後起により「受国権水脈統」の

支助政は名刺受のところに貼り、 毎年門心にかけるお金を飲料、こって顕明戦争しようと云ふのである 如何にも非常時に相綴しい新巻の に「歌勝新年」「武道長久」『阿 上には初日ノ田の二見ケ洞の命の代りに短册大の霧曲紙の下に松 唱する。短冊門を育々に共鳴して一間となりこの回頭な無駄を印制し 、眼科の内田地蔵の風味士等が提一とみて全国約一千英戸では三百英 約された愛園梅、高射機開始、防

近鎌定戦を突破して四萬七千四に四千回の戦争が集まって以来、最

月廿一日の發起人會の席上で一萬一般納運動を追してゐたが、去る九 四日が十一度四、五日が十一度四、 六日十度二の順序で昨年に比して

その代りに、門松短冊、

京畿道管内で

事を対数以来京都当及び守門の府

僧を整へ六日からスケート場とし し、李王敬では例年の通り各種数 ため具度成の祭坊池も完全に原精 公開することとなった、同に同

塵箱を道路に出すと

事となったとめ各家庭にあっては

選去した京城大學選水總及受用 唯一氏の告別式は七日午後

為字 中材藤吉本店 山城国宇治町(報書頭十番) 格茶以

F

採用 点ボル外 資素子名
八日子次四時就 ボギダネ液ある
・八日子次四時就 ボギダネ液ある
・ハ日子次四時就 ボギダネ液ある 沒有 | 株 同口第内

「一個 を求む、英国順付き 等上品な家庭を認む 総督府来領理 (構内一〇三番) 大 井 利なる事業材料に確 電影場三乙三

五十八圓のウネビ謄寫機に優るもので 輪轉騰寫機に優るもので

特約店募集◎

京都地画」「明 (現する) 国本の (記述年) 現する (記述年) 日本の (記述年) 日本の

振器口座東京51330番 女事務!異採用 両女は資素學校幸報程、配偶 の1、高位とは、京場在はの機能 の1、高位とは、京場在はの機能 の1、高位とは、京場在はの機能 の1、高位は、京場在はの機能 の1、高位は、京場在はの機能 の1、高位は、京場在はの機能 の1、高位は、京場在はの機能 の1、高位は、京場在はの機能 の1、高位は、京場在はの機能 の1、高位は、京場在はの機能

設置元 クニ商店

一杯、水田新雄県新川芸を提帯、八日午後三時九ノ内中央等におい

東京支配器 中央開鮮協會では

新聞配達人至為募集
十人被註之8者 報 報 京 城 支 局 京 城 支 局 京 城 支 局



そのまし難つて女特だかく

日本語の大家、松林性月臨份に りまくわだって『桂月』の名を

花月なられ「地月」といる物

「宋京電話」女子里製院前 加二年向本學の学宮母には 加二年の本学宮母には 畏し御内祝宴など御取止め 孝宮様には御全快

東行委員に築げ今後國民精神の源

ペンドといへば黄瘠江に面した上 | 女の、入り離れた穀穀だ、支那に | 近とその屋上、四馬路これも支那

設長は確かするでその背貝を「数」利きでは中央四手者を受けたし 初等単校があらがそのうち朝鮮人・計画では少くとも世内を決数の一 な影准内には現在二百七十二段の一から要望されてゐたところ、世學

派田商會

『田の射神機職員運輸に相呼略し、神政弘の作品を一般原民に知らし、的帯公の職を致す事を継続として「東京部語」時間に背職して政府(我が挑戦なる困難の本資に基言数)め、そその本分と職とに順じ實践

照宮様の御延辰

きのふ東京で發起人會

氏の外数十名、水野、青田開氏を 水野(俄太郎、佐々木行追、**吉田**茂

巷に氾濫。街の女

を商品にしてみる。これは範囲人一つで来であるが、「今に取事だ」

を中心に白馬、適日縣を迂回す

朝鮮人初等校長

京畿道は近く増員

上海にて 後藤 本社特派員

海戰線報告

書

敬神奉公會。生る

の先生がこ、三十名の生徒を引

語検金医院といふ小さな既を通

一足お出きに十一日から砂夏(私民上は一銭切手下は二銭た掲揚の図を投幕した程刈りの開業は一銭切手で、これは

といっつたが、性連続りに旭光を阻したお目度い意匠、ま 既何局では年賀駅前きの二銭切手を十五日から藤賢するこ

新年切手と一錢切手

歲末實習販賣

|青龍線の38め今年の京都会立商環 | 同草非常に圧縮を博して立る。京泉府氏へのサービスと、商業報 | 一般肝氏にサービスするもの。 二百四十餘名を動員

三日間にわたつて京城全市に見不一に立つてタルヘシを摂つてゐる土

在は昭和十三年度の教師者職婦一來県軍の漁撃にもまがふばかりの 漢江凍る 六日うつす

いづれも前人未踏の興味版ると

を 五 (我 包 が出来ました。 かかり は近くの神野部により

6大特徵

3 東京•銀座•泰明小學校前

逸したり

鳥覆面道人

政 [113]

雄郎

股局 新五郎 芳村伊子三郎

味がなる。

この旨さ

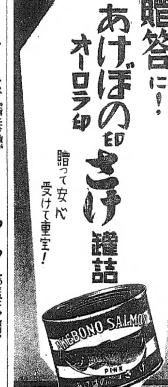
寿一 二放

節せ

Boscht

研究したことや、経療統織質行

受けて重宝!



日本的

日丸 上半年級 日丸 上半年級 日本 大連貫行 國際政議支末 神

, 机 代理店 棚鮮運运文店 工作工作 棚鮮運运文店 了六日 石田、船川、青森、 備スを有対を指ニシテ

九州野船出棚廣告

一、盤山田帆

朝鲜汽船出帆廣告

○機選急行 東平 - 名片屋 - 次時 期門コース(休飯中)

新推一大要里 一大要里 大湖之、大山

理

アルス受信器ニナードラッ

文 十月廿八日 文 十月廿八日 新 华 菱 、 華基、 裝料、 興商

東主要等ニ於テ船軍連絡 以行 日流連絡毎日慶

れば美しく染る

大阪商船出机

丸 六月一 日 丸 六月二 日 丸 六月三 日 東海岸前日葵

阪商船乘出帆

阿波共同汽船於出机

連絡使秀船

大連直行